

《子育てコラム》

楽しいあそびが体と心を発達させる

運動機能の発達について

子どもたちは日々、全身を使ってさまざまなチャレンジを続ける中で、運動機能や手指の機能、そして社会性などを発達させていきます。安全にしっかり気を配りながら、「危ない!」「ダメ!」と、子どもの挑戦を制止しすぎないことが大切です。

また、子どもの発達には個人差があります。〇かなのにこれができる・できない、ということに着目しすぎないことも大切です。

【発達の目安】

| | |
|----|----------------------------|
| 0歳 | 寝返り～おすわり～はいはい～つかまり立ち～伝い歩き |
| 1歳 | 歩き始める |
| 2歳 | 走るようになる |
| 3歳 | ぶらんこ、三輪車、ボールあそびなどをするようになる |
| 4歳 | 友達とあそんだり、遊具を使ったあそびを楽しんだりする |
| 5歳 | おにごっこ、かくれんぼなど、集団であそぶようになる |



絵本の紹介

『ひだり みぎ』

さく： 新井 洋行
出版社： 角川書店

ひだりてとみぎてをほんのうえにのせて、さあはじまるよ!ひだりてでいちごをつまんでぱくぱくぱくくんみぎてでたいこをとんとこどーんじょうずにできたらさいごにはママといっしょに……?遊びながら「ひだり・みぎ」が自然と身に付く、楽しいファーストブック!

左と右の概念を教えてくれる、参加型知育絵本です。



幼保連携型認定こども園 あけぼのこども園

子育て支援だより

あけぼの 2月号

支援センターの イベント情報

ママクラブ

2月10日(月)10時～

バレンタインに♡手形クッキー

参加費 100円
申し込み締め切り
2/7(金)まで

生地に手型をとって
チョコでデコレーション



なかよしランド

2月18日(火) 10時～当園遊戯室にて

わんぱく教室☆リトミック (外部からお呼びしている先生です)

参加費 無料
申し込み締め切り
2/15まで



★あけぼのこども園 子育て支援センター★



◎支援センター開放時間(月～土 8:00～13:00)
◎毎月のイベントがあります♡
・おはなし会
・ママクラブ
・なかよしランド
・園行事参加など
◎黒石市外の方も大歓迎です♪

◎園の見学・お問い合わせ・相談いつでも
お気軽にお電話ください。

TEL 53-1992
あけぼのこども園ホームページはこちら



黒石市警察署の通り。ファミリーマートさんの隣です。

★スポカルイン黒石2階親子アリーナで開催★

ま～なひろば

☆毎週木曜・金曜 9:20～12:30 参加費無料!!
☆育児中の方なら誰でも親子で遊べるひろばです♪

〈2月の実施予定日〉

- 6(木) 保健師さん来所
- 7(金)
- 13(木) 身体測定
- 14(金) 身体測定 / ミニ講座『歯について』
- 20(木) ひなまつり製作
- 21(金)
- 27(木)
- 28(金)



☆わのまちセンターでの開催日☆

2/4(火)・2/18(火)・2/25(火)

こちらにも、遊びにきて下さいね😊

2月 休日在宅当番医

- 2日(日) たかはし内科循環器科クリニック TEL 59-2200
- 9日(日) 黒石あけぼの病院 TEL 52-2877
- 16日(日) 黒石病院 TEL 52-2121
- 23日(日) 健生黒石診療所 TEL 52-3015

★このほか 弘前急患診療所 TEL (34-1131)
【休日】 10:00～16:00 【夜間】 19:00～22:30

★病院か、様子見か迷ったら・・・
こどもの救急 (生後1か月～6歳対象)



子育て心理学

子供が大きくなるにつれて 手綱を緩める

子供が小さい時は、自分では何もできないので、親が全ての面倒をみてあげる必要があります。しかしながら、子供が大きくなってきても、小さい時と同じように、全ての面倒を見てあげようとする親がいますが、実は、これは、非常にまずいのです。

子供が大きくなると、問題解決能力が上がってきますので、自分ひとりでできることも増えてきます。なのに、いつまでたっても親が全てやっていたら、子供が自分で問題に直面して、自分の判断で問題を解決する貴重な経験を奪ってしまうことになるのです。

したがって、もし、このようなことがずっと続いて、親がいつも子供の問題に介入していたら、子供はいつまでたっても自分で問題解決できる能力が育たず、親離れができなくなるのです。

また、自分で問題を解決したかったのに親が全部やってしまったことに不満を覚え、反抗期に爆発して、家庭内暴力にまで発展することがあります。

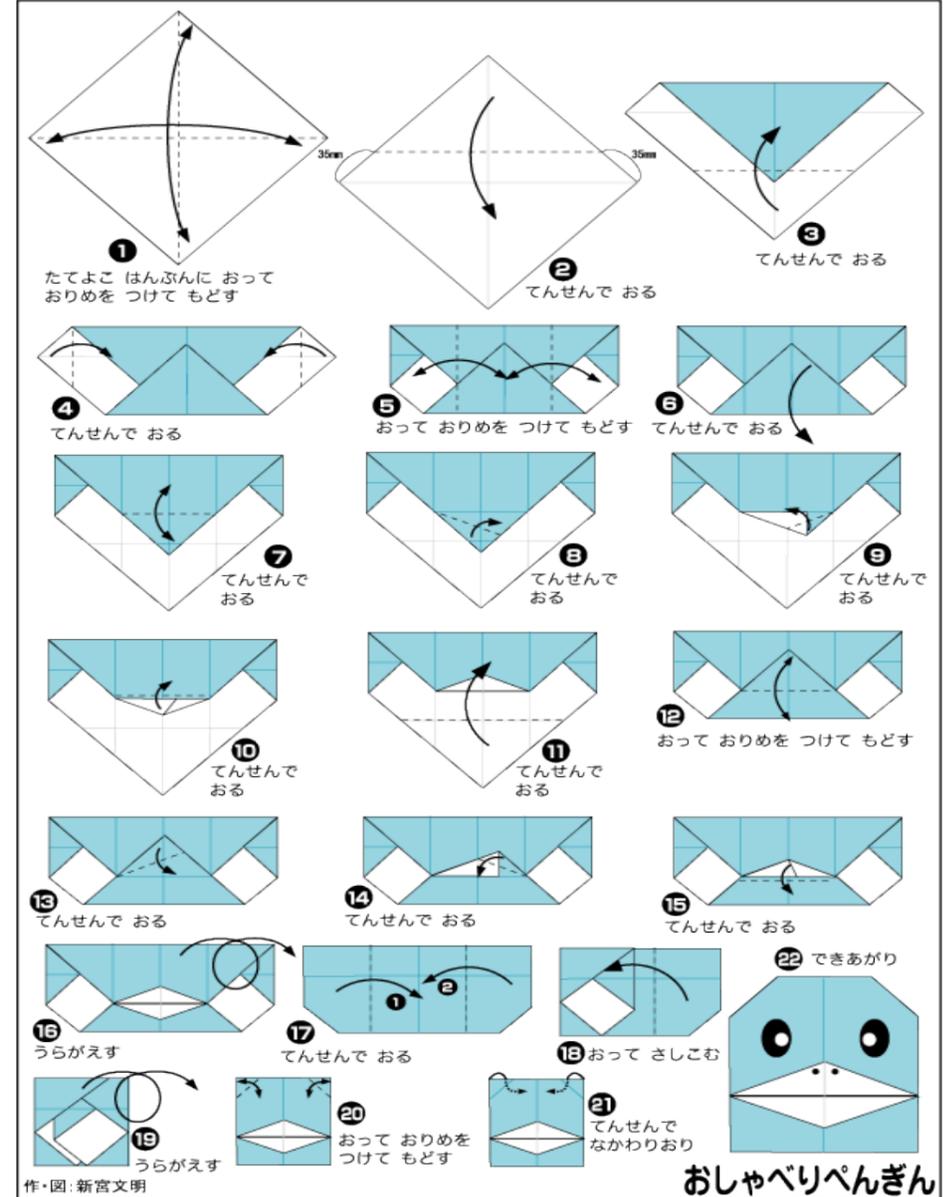
ですので、子供が大きくなり、自分でできることが多くなるにつれて、親は、手綱を緩めていかないといけないのです。

もちろん、いきなり完全に手綱をなくしてしまっただけでは、子供が解決できない危険な問題に遭遇して怪我してしまうこともありますので、あくまでも、少しずつ手綱を緩めていく必要があります。

子育てで大切なのは、子供が大きくなるにつれて、ほどよく手綱を緩めていき、できるだけ自分で問題を解決するように持って行くことなのです。

牧村 和幸(心理研究家)

おりがみあそび



2月乳児健診 (場所/スポカルイン黒石)

| | | |
|-------|----------|-----------|
| 乳児健診 | 2月18日(火) | R6年10月生まれ |
| 1歳半健診 | 2月 4日(火) | R5年 7月生まれ |
| 2歳児健診 | 2月19日(水) | R4年 7月生まれ |
| 3歳児健診 | 2月 5日(水) | R3年 7月生まれ |